

# 商工たかさき

**特集** ご当地グルメ 高崎の名物料理づくりプロジェクト発進

**今月の人** 銅版画家 長野 順子さん



表紙の写真 有高崎漢方薬局(田町) 小山内 <sup>てるよ</sup> 映代さん

小山内さんは、県内に数十人いる「漢方薬・生薬認定薬剤師」で、毎年中国に渡り先端の漢方医学を学ぶなど、国内における漢方医学の草分け的存在の一人だ。最近、薬局やドラッグストアでも漢方薬を扱っているが、漢方薬だけの専門店が高崎では一店のみで県内でも珍しい。(関連記事22頁)



田町通りでおなじみの店舗



ガラス容器に様々な生薬が保存されている

## 西欧医学からも注目される漢方 高崎唯一の専門店

● 漢害で気付いた漢方の大切さ  
中国の漢から日本に伝わった漢方。自然の薬効で副作用が少なく、古くて新しい医学として西欧医学からも注目されている。小山内さんは、大手医薬品メーカーに勤務し、新薬の研究開発に携わっていた。開発の過程で自分も薬害被害者となったことがきっかけで、漢方医学の大切さに気付いた。四千年の歴史を引き継ぐ漢方。文献の中には何千もの漢方薬が記されており、現在、三百種類が医薬品として認可されている。

● 高崎のまちで漢方薬一筋  
高崎漢方薬局は昭和51年に元紺屋町で開業した。小山内さんは深谷市の出身で、近郊に店舗の適地を探したが、魅力を感じるまちがなかった。高崎線沿線を全て歩き、本庄まで来て諦めかけた。ついだからと高崎に来て駅を降りた時、「ここだ！」と決めた。まちの活力を感じたそう。平成元年に田町の現店舗に移り、「高崎に来て大正解」と振り返る。

開業時から、新薬・化粧品・雑貨は扱わず漢方薬一筋。「私達でしかやれないことを」と、活路を開いてきた。ご主人の信さんは気功整体の資格を持ち、協力してお客に喜んでいただく。一年に数回、中国へ行き最新の研究を学んでいる。近隣の海外居住者、外国人のお客様も増えているという。

● 患者の体質や症状にあわせた処方  
人間を観ることが小山内さんの基本姿勢だ。お客への質問は細かく、本人にとって関係がないような事も薬選びのポイントとなる。同病異治、同じ症状でも人によって薬が違う。カゼ薬も二、三十種類ほどあり、薬選びには経験が必要だ。一回に渡すのはカゼなどの場合は三分、慢性病でも一週間程度。症状や体質の変化に応じて薬が変わってくる。

慢性病、アトピーなど皮膚疾患の多くのお客が「色々試してみたのだが」、「今の治療が本当にいいのだろうか」と訴える。予防と根本治療が漢方の得意分野。薬食同源、食事や睡眠など生活指導も重要だ。最近では不妊症の相談も多く「若い時に体がきちんとつれていない」と心配願だ。

日本人の三大疾病、持病や遺伝による体質、老化など、誰も不安を抱えている。こうした分野にも漢方による予防が取り組まれている。「漢方では抗老防衰、活血補腎と言いつい、一定の効果認められています。」(T)

## 会員企業ナウ

AN ENTERPRISE

# NOW

### 有限会社 高崎漢方薬局



小山内さん

### ～会社概要～

社長：小山内 暎代さん  
住所：高崎市田町86-4  
ライオンズマンション1階  
電話：027-326-8418  
URL：http://www.takasakikanpou.co.jp/



ご宿泊に  
ご会食・ご宴会に  
会議セミナーに

駅上の快適空間

## ホテルメトロポリタン高崎

群馬県高崎市八景町222 TEL.027-325-3311  
URL http://www.metro-t.co.jp

